

厚生労働行政推進調査事業費補助金  
(地域医療基盤開発推進研究事業)  
病院薬剤師へのタスク・シフト/シェア普及に対する阻害要因の把握と  
その解決に向けた調査研究 (22IA0101)  
令和4年度 分担研究報告書

「医師から病院薬剤師へのタスク・シフト/シェアの質の評価や効果を可視化するための指  
標の開発」

研究分担者 岡田浩 京都大学・特定准教授

研究要旨

病院薬剤師のタスク・シフティングは必ずしもすべての病院で進んでいるわけではなく、進展の阻害要因の解明が求められる。本研究では、医薬品適正使用や医療安全の推進の効果を可視化するための指標（クオリティーインディケーター：QI）の開発を行う。QI作成のための文献調査を実施し、がん化学療法領域における薬剤師のタスク・シフト/シェアについては59報を抽出した。これらを元に、29個のQI候補案を考案した。引き続き、研究を遂行していく。

A. 研究目的

令和3年9月30日に厚生労働省から「現行制度の下で実施可能な範囲におけるタスク・シフト/シェアの推進について」が発出され、現行制度の下で医師から他の医療関係職種へのタスク・シフト/シェアが可能な業務の具体例や、推進するに当たっての留意点等が示されている。医師から薬剤師へ薬剤関連業務をシフトすることで、医師の業務負担軽減のみならず、医薬品適正使用や医療安全の推進の効果が期待される。しかし、病院薬剤師へのタスク・シフティングは必ずしもすべての病院で進んでいるわけではなく、進展の阻害要因の解明が求められる。すなわち、病院薬剤師業務をより効率的で生産性の高い業務構造に変革するための現状課題の抽出、論点整理が必要である。

令和2～3年度に実施された厚生労働科学研究「病院薬剤師へのタスク・シフティングの実態と効果、推進方策に関する研究」

（研究代表者：外山聡）の調査では、多くの施設で病院薬剤師へのタスク・シフティングが実施されていたが、その業務量は1週間で10時間程度とかなり少ないことが明らかとなった。また、「タスク・シフティングの推進に係る施設特性を明らかにする必要がある」と考察されている。本研究では、タスク・シフト/シェアによる医師の負担軽減のみならず、医薬品適正使用や医療安全の推進の効果を可視化するための指標（クオリティーインディケーター：QI）の開発も併せて行う。

B. 研究方法

タスク・シフト/シェアの目的は、医師の

負担軽減のみならず、医薬品適正使用や医療安全の推進である。「医師から病院薬剤師へのタスク・シフト/シェアの進展の阻害要因や課題に関する実態の把握、分析」で得られた成果をもとに、タスク・シフト/シェアによる患者アウトカムへの効果を可視化するための医療の質指標（クオリティインディケーター：QI）の開発を行う。初年度には、QI 開発は、まず診療ガイドラインと今回の調査結果をもとにレビューボードが QI 候補を作成する。

(倫理面への配慮)

該当なし

### C. 結果

QI 作成のための文献調査を実施し、がん化学療法領域における薬剤師のタスク・シフト/シェアについては 59 報を抽出した。これらを元に、29 個の QI 候補案を考案した (図 1)。

	外薬化療 QI 候補	参考文献
Process	診断前副反応数	
	連携発薬加算算定件数	
	外薬腫瘍化学療法診療料①の算定件数	
	がん患者指導料①への算定件数	
	薬歴からのレシリングレポート報告数	
	薬剤師による検査オーダー件数	
	薬剤師による処方オーダー件数	
	薬剤師外来の受診件数	文献 17
	支持療法に関する処方件数	
	PAE に関する検査実施割合	文献 65
	OTDAE の割合	
	外薬腫瘍化学療法診療料②の算定件数	
	がん薬物療法に関して腎機能にあつた用量調整がなされている割合	がん診療ガイドライン
	罹患リスクに応じた支持療法が施行されている割合	がん診療ガイドライン
IG-CSF 薬剤が必要な患者に投与されている割合	がん診療ガイドライン	
Outcome (患者に観測するもの)	問コース内での最大CTCAE grade (症状の項目は絞る)	文献 27
	副作用発生件数 (症状の項目は絞る)	文献 20
	患者のQOL (指標はEQ-5D-SL など)	文献 22
	抗がん剤の治療期間	文献 17
	治療強度を落とさずに継続できている期間	
	患者の薬剤への理解度 (MUSE scale など)	文献 24
	患者の自己管理能力	文献 24
	生存期間	
	予定入院の件数 (外薬緊急受診も含める)	
	薬剤師外来の必要性 (患者アンケートによる)	文献 6
薬剤師の稼働度 (薬剤師の診察に対しての満足度など)	文献 39	
Outcome (患者に観測するもの以外)	医師の業務時間 (業務内容毎の時間の変化)	文献 8
	薬剤師の業務時間 (業務内容毎の時間の変化)	
	医療費 (施設毎)	文献 8

### D. 考察

QI 候補案を考案し更なる調査を継続している。当初の研究計画からやや遅れているが、引き続き、研究を遂行していく。

るが、引き続き、研究を遂行していく。

### E. 結論

引き続き、研究を遂行していく。

### F. 健康危険情報

該当なし。

### G. 研究発表

なし

### H. 知的財産権の出願・登録状況

なし